

2024年 6月12日(水) 5校時
 3年1組 青山 律子
 場所 3年1組教室
 指導者 青山律子

1 単元名 俳句を楽しもう

2 指導計画 (全2時間)

- ① 俳句の決まりを知り、俳句を声に出して読む。
 気に入った俳句を音読したり暗唱したりする。
- ② 身の回りの五音と七音を組み合わせた詩や歌を探す。
 探した詩や歌を友達と見せ合う。

3 本時の目標 (評価も同様)

- ・ 易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知識・技能) **【観察・ノート】**

4 本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ■評価 (評価方法)
導入	1、小学生の作った川柳と、教科書の俳句を詠んで比べ、違いを見つける。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書は開かせず、川柳と俳句の短冊を貼って教材を提示する。 ○ 児童がリズムを感じるができるように、意識して範読できるようにする。
声に出して読み、言葉の調子やひびきを楽しもう。		
展開	2、言葉のまとまりや調子、響きを楽しみながら声に出して何度も読む。 3、教科書 P91,92 の 6 句の中から自分が一番好きな俳句を選び、ノートに書く。 ・ 選んだ俳句のどの箇所が好きか、気に入った理由は何かも書きましょう。 4、好きな俳句を伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 五・七・五のリズムを体感させながら読ませる。 ○ 暗唱にも挑戦させる。 ■ 優しい文語調の俳句を何度も音読して、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 ○ 大意を参考に大まかな意味を捉えさせ、古人の生活や感性に思いをはせる時間も取りたい。 ■ 進んで言葉の響きやリズムに親しみ、友達に自分の考えを伝えることができる。
まとめ	5、本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 次の時間は身の回りから身の回りから五音と七音を組み合わせた詩や歌を探すことを伝える。

1 主題名 正しいとおもったら (内容項目-A-1)

2. 教材名 SL公園で (東京書籍 新しい道徳 P48)

3 本時の目標

- ・状況や善悪を正しく判断し、自信をもって行動しようとする心情を育てる。

【観察・ワークシート】

4 本時の展開

	○学習活動 ・児童の反応例	・指導上の留意点 ■評価 (評価方法)
導入	<p>○その時にやってよいことやいけないことを判断できていますか?いけないところを見たとき、注意できていますか?</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">正しいことを判断するために、大切なことは何だろう。</div>	<p>・学級内でのよくある出来事を例に提示し、イラストで具体的に想起させる。</p>
展開	<p>○いけないことをしていた友達を止められなかったのは、どうしてなのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きらわれたくない ・真面目だと思われてしまう <p>◎なぜしんごは女の子の人に「とめられたらよかったのに」と言われたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達が大けがしてしまうかも ・みんなで使う場所だから ・小さな子が真似したら困るから 	<p>・よくないと思っても注意できない葛藤を話し合わせる。</p> <p>・今回の出来事を「しんご」「友達」の双方から考え、何が大切だったのかを考えられるようにする。</p>
まとめ	<p>○正しい判断をするために、大切なことは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いけないと思うことは、自信をもって注意する。 ・何がいけないのか、自分の心や友達に伝えていく。 	<p>・学習問題を再度提示し、これまでの行動やこれから大切にしたいことを考えられるようにする。</p>

1 単元名 「ごみの処理とその利用」

2 指導計画(全10時間)

③ 町田市の集積所の数やごみの分別について調べる。(全2時間)

④ ごみの処理の仕方と、バイオエネルギーセンター、二ツ塚処分場について(全4時間)

⑤ ごみの処理とその利用(全4時間)

3 本時の目標(評価も同様)

- ・それぞれのごみの行方について知る。(知識・技能)

- ・ごみを減らすためのきまりや工夫について調べ、資源ごみの再利用に関わる3Rについて理解することができる。(思考力・判断力・表現力)

4 本時の展開(7時間目) ・活動 ☆児童の反応

	学習活動	・指導上の留意点 ■評価(評価方法)
導入	<p>① 事前に行ったアンケートの回答結果を確認する。</p> <p>☆一人一日役1kgのごみを出すんだ。</p> <p>☆ごみを減らすためには生産を減らしたほうがいい</p> <p>☆資源になるのは94グラムしかない。</p>	<p>・事前に Googleforms で、児童の今知っているごみについての知識などについてアンケートを取って集計する。</p> <p>・自分たちが出すごみの行方について、「どう生まれ変わる？」などの言葉掛けをしながら、学習問題を立てるようにする。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> めあて：収集されたごみはどこに行くのだろうか？ </div>	
展開	<p>② 資源物や粗大ごみなどそれぞれのごみの行方について調べる。</p> <p>③ 生まれ変わったゴミで資源(再生されるもの、再利用されるもの)を調べる。</p> <p>☆紙パックはトイレットペーパーになる。</p> <p>☆ビン、カンが再び利用される。</p> <p>④ 調べたことをもとにして、ごみを減らしたほうがいい理由を考える。</p> <p>☆リサイクルをたくさんするべきだ。</p> <p>☆必要以上にものを買わない。</p>	<p>・ワークシートを使って、項目ごとのごみの行方をまとめる。</p> <p>・ PowerPoint で生活の場面で、リサイクルされる取り組みについて示す。</p> <p>・児童の発言から、リユース、リサイクルの言葉が出たら、取り上げ、意味を聞き取り、広げる。</p> <p>・グループワークを行い、児童一人一人が自分の考えを伝える場面を設定する。</p>
まとめ	<p>⑤ 本時で調べたことをノートにまとめる。</p>	<p>・NHKforschoolの動画教材を活用し、理解の定着を図る。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> まとめ：色々な種類のごみは、埋め立てられたり、リユースやリサイクルされたりして、ごみを減らす工夫がされている。 </div>	

道徳科 学習指導略案

2024年 6月12日(水) 5校時

南第四小学校 4年2組32名

場所 4-2教室

指導者 湊 喜美子

- 1 主題名 働くときの思い(みんなのために働く) C: 勤労、公共の精神
- 2 教材名 『「もっこ」をせおって』(東京書籍 「新編 新しい とうとく」 第4学年)
- 3 ねらい 働くことよさに気づき、すすんで人のために働こうとする態度を育てる。

4 本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ■評価
導入	<p>1 東日本大震災について知る。 その後の生活について焦点を当てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寒さに震えた ・食べるものがなかった ・家族を亡くして、悲しみにくれた 	<p>東日本大震災の写真を提示し、当時の様子を紹介する。 もっこがどのような道具かを紹介する。</p>
展開	<p>2 『「もっこ」をせおって』を読んで話し合う。</p> <p>① 重い荷物を背負って一時間の道のりを歩く二人は、どんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大変だ。 ・続けられるかな。 ・待っている人のために頑張らないと。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>② 学校が始まって、配達を続けた二人は、どんな気持ちだったのでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・待っている人を喜ばせたい。 ・最後までやり抜きたい。 ・自分のことを待っている人がいる。 <p>3 今までの自分を振り返る。</p> <p>① みんなのために働くことは、どんな思い(気持ち)がしましたか。振り返ってみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族のために洗濯物をたたんでいる。家族に喜んでほしい。 ・掃除当番を頑張っている。教室がきれいになると気持ちがいい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなのために働こうとする思いや、みんなのために働くことの大変さや難しさを多面的に考えさせる。 ・すすんでみんなのために働くことの良さを多角的に考えられるよう、ペアで話し合う。 ■すすんでみんなのために働くことよさを考えることができたか。 ・家庭でのこと、学校でのことなど、具体的な場面を想起させる声掛けをする。 ■今までの自分を振り返り、すすんでみんなのために働くことよさを感じることができたか。
終末	<p>4 教師の話聞く。</p>	<p>○クラスの中で、みんなのために働く人の姿を紹介する。</p>

2024年6月12日（水）5校時

4年3組33名

場 所 4年3組教室

指導者 五十嵐 弥生

1 単元名 夏の生き物

2 指導計画（全5時間）

第1次 夏の生き物（5時間）

3 本時の目標

- ・身近な動物の活動や植物の成長の変化と春から夏の気温の変化を関係付けて考察し、それらについて予想や仮説をもつことができる。

4 本時の展開（2/5）

	学習活動	・指導上の留意点 ■評価（評価方法）
導入	1. 学習問題の確認をする。 2. 春の動物の様子と、春に立てた夏の様子の予想を確認する。	・前時までの学習について発問することで、児童に教科書やノートに目を通させ、復習させる。
	目標：夏の生き物のようすについて調べよう。	
展開	3. 夏の動物の様子を調べ観察する。 4. 夏の生き物の様子についてグループで話し合う。 5. 全体で夏の生き物の様子について共有する。	・春からどのように変化したのかを意識するように声をかけ、春との違いに着目しながら話し合いができるようにする。 ・動物の活動や植物の成長と季節の変化を関係付けている言葉を取り上げる。 ・気温の変化との関係について意識できるようにする。 ■身近な動物の活動や植物の成長の変化と春から夏の気温の変化を関係付けて考察し、自分の考えを表現している。（発言・記録）
まとめ	5. 学習のまとめをし、次時の秋の生き物の様子を予想する。	・春・夏の観察や、これまでの生活経験をもとに、秋の生き物の様子について予想する。 ■身近な動物の活動や植物の成長の変化と春から夏の気温の変化を比較し、それらについて予想や仮説をもち表現している。（発言・記録）